

はじめに

小山市は、東京圏からわずか60kmに位置し、新幹線が停車する鉄道、国道ともに交差する交通の要衝にあり、その優位な立地利便性を最大限に活かした「人と企業を呼び込む施策」を展開しており、工業団地の早期造成や優良企業の誘致促進等を図ることにより、北関東でも有数の工業都市として発展してきております。

一方、工業を取り巻く環境は、若者の製造業離れや技術者の高齢化、急速な情報通信技術の発達やグローバル化の進展等の社会構造が大きく変化しており、とりわけ本格的な人口減少・少子高齢化社会の到来は、経済活動の縮小や税収の減少、行政サービスの低下等深刻な影響を招くことが危惧されております。

このような危機を回避するため、国の進める地方創生と連動し、平成27年10月に策定した「小山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における基本戦略の第一として「産業の振興による雇用の創出」を掲げたところであり、今後さらに「人と企業を呼び込む施策」を継続・強化することにより、将来にわたる持続的な発展を堅持していくこととしたものです。このたび策定した「第二期小山市工業振興基本計画」は、その基本戦略を実現するための具体的な工業振興施策を表わしたものです。

本計画の策定にあたっては、第一期計画における取組みを検証するとともに、本市における工業振興に関する現状と課題を整理した上で、今後も継続して取り組む施策に新たな施策を加えてとりまとめました。本計画においては、本市における工業振興の将来像を「さらに便利に 魅力的に 未来に広がる工業のまち小山市へ」と位置づけたものであり、その実施にあたっては関係機関・団体等との連携により取り組んでまいりますので、皆様方の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、アンケート調査にご協力いただきました関係事業者の皆様をはじめ、貴重なご意見、ご提言等をいただきました「小山市工業振興懇話会」委員の皆様に対しまして、心から御礼申し上げます。

平成28年3月



小山市長 大久保 寿夫